

# 泉管弦楽団

## 第52回定期演奏会



2022年12月4日(日) 14:00開演 横浜市泉公会堂ホール

指揮 福井 雄一

主催 泉管弦楽団 後援 泉区役所 楽譜協力 JAOミュージックライブラリー

### ご挨拶

泉管弦楽団の第52回定期演奏会にご来場いただき、まことにありがとうございます。

感染症による行動制限や、国際情勢の不安とその影響による物価高などが続くなか、貴重な日曜日の午後の過ごし方として、今日余りあるチョイスの中から当団の演奏会をお選び下さいましたこと、あらためて感謝申し上げます。

本日お届けする2つの名交響曲は、いずれも「喜び」を巧みに表現した曲に思えます。初めてお迎えした福井雄一先生の熱心なご指導のもと、音で喜びを表現する技を磨いてきました。年の瀬を迎え、皆様の心休まるひとときとなりましたら幸いです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

### プロフィール



指揮 福井 雄一 (ふくい ゆういち)

バロックから現代までの幅広いレパートリーと語学への深い造詣により、オペラ、バレエ、ミュージカルの指揮者として厚い信頼を得ている。

1969年宮崎県出身。昭和音楽大学にてホルンと指揮を学び卒業。V. フェドセーエフ、F. ルイジ、G. マルク等のもとウィーン交響楽団にて指揮者としての研鑽を積む。2005年ウィーン国立音楽大学マスタークラス指揮科修了。指揮をJ. パヌラ、M. ディットリッヒ、M. ストリンガー、紙谷一衛の各氏に、ホルンを守山光三、宮田四郎、樋口哲生の各氏に師事。ハンガリードナウ交響楽団主催による第1回ドナウ国際指揮者コンクール第3位。

ロシア国立サンクトペテルブルグアカデミー交響楽団をはじめ、欧州各地の主要オーケストラを指揮。マンチネッリ歌劇場(イタリア)、ブルガス国立歌劇場(ブルガリア)など欧州の歌劇場で数々のオペラを指揮。2007年より3年間(財)新宮町文化振興財団オペラ音楽監督・指揮者を務める。地域住民参加型公演を通じてオペラの普及に貢献。(社)日本演奏連盟会員。

### お知らせ

- 感染症予防のため、マスク着用などをお願いしております。また、万が一のクラスター発生などに備え、ご連絡先提供をお願いしています。ご理解・ご協力をお願いいたします。
- 団員募集中。練習は月2回、日曜日午後、緑園地域交流センター(緑園都市)ほかにて。詳細は、団HPまたは泉管弦楽団事務局(izumikangengakudan@yahoo.co.jp)まで。
- 次回演奏会は、2023年6月4日(日)泉公会堂、指揮 田野倉 雅秋によるブラームスの交響曲第4番とヴァイオリン協奏曲(独奏: 田野倉 雅秋)を予定しています。

## 曲 目 紹 介

### 交響曲第35番二長調 K. 385 「ハフナー」 モーツァルト（1756～1791）

モーツァルトの父が親しかったザルツブルグ市長、ハフナー家の子息の爵位授与式のために、6楽章のセレナーデとして当初は作曲された。1783年の春、アカデミー（予約演奏会）の曲目とするため、メヌエットの一曲と行進曲を除き、1楽章と4楽章にフルートとクラリネットを付け加えた現在の形となった。演奏時間は約30分。

構成は、モーツァルトが父親あての手紙に、「まさに烈火のごとく進まねばならない」と書いている第1楽章、ウィーン風の明るく優美な第2楽章、小規模ながら典雅な趣きに溢れた魅力的な第3楽章、アマチュアオーケストラとしてはなんとも恐ろしい「できる限り速く」というモーツァルトの言葉が残る第4楽章から成る。

後期交響曲や6大交響曲と言われる際の最初の曲で、作曲者が妻コンスタンツェとの結婚について、父レオポルドに許しを求めるやりとりと同時進行で作曲が進行したと伝えられている。

### 交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」 ブルックナー（1824～1896）

ブルックナーの交響曲には、共通した特徴がある。ブルックナー開始：弦楽器のトレモロによる神秘的な曲の始まり。ブルックナー・リズム：三連符+二連符（あるいはその逆）のリズムの多用。ブルックナー休止：オルガン演奏時の機能的制約に伴うような総休止、等である。

1874年から1880年にかけて作曲・改訂された第4番は、ブルックナーの交響曲の中で内容的に最も親しみやすい曲である。作曲者自身がつけた「ロマンティック」という標題もあって、人気が高く、演奏頻度も多い。（演奏時間は約65分。）

第1楽章は、弦楽器のトレモロの中から浮かび上がるホルンのテーマで始まり、金管による燦然たるコラールで頂点を築く。第2楽章は、チェロの憂いに満ちた主題に始まり、後に長調で雄大なクライマックスを迎える。第3楽章のスケルツォは、ホルンとトランペットが、ブルックナー・リズムをふんだんに吹き鳴らす勇壮な「狩り」の音楽である。第4楽章は、開始部で、オルガン的な数オクターヴに及ぶユニゾンの強奏が現れる。何度かのブルックナー休止を経て、コーダでは、第1楽章のテーマに基づく明るい崇高な盛り上がりを見せて曲を閉じる。

---

## 出演者等名簿

Concert mistress . . . 若松由利子

|               |              |                    |                   |                |                   |
|---------------|--------------|--------------------|-------------------|----------------|-------------------|
| <b>Violin</b> | 中村 岳志        | 妹尾 洋之              | <b>Contrabass</b> | R. ケラー         | 小林 聖美             |
| 伊藤 雅美         | 根本 明德        | 富田 葉子              | 伊東 功一             | <b>Bassoon</b> | 高橋 道房             |
| 大関 麻代         | 濱崎美加子        | 土門 洋               | 大沢 陽子             | 小野亜希子          | <b>Trombone</b>   |
| 尾崎麻由美         | 浜田 光江        | 平塚 研之              | 杉 文一              | 土屋 友紀          | 小島 勉              |
| 大塚 浩二         | 本多 きみ        | 平塚 貴子              | 谷田 晃朗             | <b>Horn</b>    | 松山 隆之             |
| 五味 晶子         | 松島 一匡        | <b>Violoncello</b> | <b>Flute</b>      | 河南 周作          | 吉田 智生             |
| 柴田 一徳         | 三輪由布子        | 長田 和彦              | 西原 清美             | 中塚 由紀          | <b>Tuba</b>       |
| 田村 靖          | 若松由利子        | 春日 彩子              | 山本 美樹             | 前田 祥博          | 阿部 健一             |
| 土屋亜紀子         | <b>Viola</b> | 加藤 律美              | <b>Oboe</b>       | 宮澤 弘恵          | <b>Percussion</b> |
| 土門 純子         | 大橋 悦子        | 栗山 孝秋              | 江尻 佳代             | <b>Trumpet</b> | 伊藤 諭              |
| 苗村 賢一         | 加藤 敬子        | 柴田真紀子              | 田中 崇行             | 木村 晃           |                   |
| 中川真由美         | 清家 匡         | 谷川 昭               | <b>Clarinet</b>   | 小寺 佑奈          |                   |
|               |              |                    | 森田真由美             |                |                   |

事務局 成見 正明